

おおたの未来づくり 単元計画シート

調布大塚小

単元名	おおたブランドの米づくり		学年	第5学年
内容	B_地域の創生（オ）:地域の取組の広報型		総時間数	8
目標	・地域の活性化のためのおおたブランド米づくりに必要な知識及び技能を身に付ける。・ブランド米として確立するために必要な情報を収集・整理分析しながら、地域の活性化につながる取組として情報発信する。 ・地域生産者やJAなど、米づくりに携わる人々との関わりを大切にするとともに、リフレクションを生かしながら主体的に取り組み、よりよい未来を創造しようとする態度を養う。			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	・地域の活性化のために自校で育てる米をブランド化するためのコンセプト設定に必要な内容・方法を理解・実践する。 ・米の生産地や地域による特徴、開発の経緯、販売戦略など、地域に特化したブランド米の誕生までの経緯、安定生産に必要な条件についての情報を収集・整理・分析する。 ・分析した情報を基に、おおたブランドのおいしい米づくりに必要な条件について、地域生産者やJAと協働しながら分析しコンセプト設定に取り組む。			・田園調布グリーンコミュニティ ・地域協力者
デザイン	・地域の活性化のためのブランド米にするために必要な内容・方法を理解・実践する。 ・おおたブランドの米として発信する内容や方法、デザイン、キャッチコピーを考える。 ・地域生産やJAとのリフレクションを受け止めて、協働的にデザインの改善や必要な情報収集に取り組む。			・田園調布グリーンコミュニティ ・地域協力者
クリエイション	・デザインした内容を基に米づくり(田植え、収穫、中干、脱穀)に取り組む。 ・経年データを活用しながら効率的に米づくりに取り組む。 ・米づくりに各段階での記録を蓄積するなどブランド化戦略やPRに必要な内容・方法を理解・実践する。 ・米づくりの過程での記録を基に、地域生産者やJAとのリフレクションを受け止めて、協働的にブランド化や情報発信に向けた準備に取り組む。 ・次年度の改善に向けてデータを整理・分析し、地域生産者やJA、4年生にプレゼンテーションを行う。			・田園調布グリーンコミュニティ ・地域協力者
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	話すこと・聞くこと	・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。		1
社会	農業	・生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。		2
家庭	衣食住の生活	・おいしく食べるために調理計画を考え、調理の仕方を工夫すること。		2
総合	・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。			3